

第602回川崎医学会講演会

日時：令和8年10月23日(金) 17:30~18:30

場所：医大図書館小講堂 座長：塩谷 昭子



「大腸腫瘍に対する内視鏡治療」

近畿大学 消化器内科学
准教授 竹内 洋司先生

大腸癌は、罹患率・死亡率ともに依然として高い疾患であり，早期発見・早期治療が重要である．北欧から報告されたNordICC trialでは，一次スクリーニング法として大腸内視鏡検査が社会全体の予後改善に与えるインパクトの小ささが明らかとなったと同時に，内視鏡治療による大腸がんの抑制効果も明らかとなった．大腸内視鏡検査に携わる内視鏡医は，その効果を考えながら効率的にベストプラクティスを提供する必要がある．この10年程度で普及したCold Snare Polypectomy, Underwater EMR/ESDなど，新規治療技術の要点について解説する．

※大学院生で講義として受講する場合は必ず教務課（大学院）へ問い合わせてください。

お問い合わせ先：川崎医学会講演会担当内線：26037・26033

《皆様のご来聴をお待ちしております》